

# 責任世代 尾崎大介、新たなステージへ。

一人ひとりの暮らしに「安心」と「希望」を取り戻す——

私、尾崎大介はこの4年間、現場主義を貫き、地元・北多摩3区（調布市・狛江市）を歩き続けてきました。

生活者の声を都政に反映させ、「見える都政」を実現するため、絶え間ない都政改革に挑戦してきました。

子育て、医療、介護、教育といった生活の根本に関わる施策の充実、

さらに社会保障、環境など世代を超えた政策立案は、

中長期の東京を担う私たちの世代が責任を持って取り組まなければなりません。

断固たる決意で、私、尾崎大介は「都民が主役の政治」の実現を改めて約束します。

「社会の片隅でまじめに働き、努力している人のためにこそ、政治がある」——

政治家としての原点を、いま改めてかみ締めています。

私、尾崎大介は責任世代の代表として、新たなステージに進みます。

東京都議会議員 **尾崎 大介**



現場主義  
尾崎大介

## 活動の軌跡

Tracks of Activity

4年間、ひたむきに現場を歩き続けてきました。



新銀行東京・400億追加出資問題で、石原都知事を徹底追及



都議会本会議で一般質問に立つ



神代団地で都政相談を開催



調布市慰霊祭で献花



地元商店街のお祭りで挨拶



都議会議員団で韓国の政情を視察



民主党調布支部を代表し、市に政策要望



屋外イベントで挨拶



地元小学校の運動会で市民とふれあい



障がい者のグループホームを訪問



狛江シルバー人材センター30周年式典で祝辞

